



2025年11月4日

各 位

会社名 株式会社トーシンホールディングス
代表者名 代表取締役社長 石田 雅文
(コード：9444 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役副社長兼管理部長 旭 萌々子
(TEL. 052-262-1122)

(訂正)「2020年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、2020年6月30日に公表しました「2020年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容につきまして、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

1 【訂正の経緯及び理由】

当社の連結子会社である株式会社トーシンモバイルにおいて、代理店向けの代理店精算)において、財務報告用資料と実際の代理店精算用資料の2種類が存在しており、かつ財務報告用資料において代理店向けの端末販売等の売上高が過大計上となっており、その結果として帳簿上未回収となっている売掛金が存在している事実が判明いたしました。これに伴い当社は、本件の事実関係及びその内容について、調査とその根本原因を究明し、再発防止を図るため、外部専門家による調査が必要であると判断し、2025年5月9日に第三者調査委員会を設置し、調査を進めてまいりました。

2025年8月29日に同委員会より調査報告書を受領し、株式会社トーシンモバイルにおける2020年4月期から2025年4月期第3四半期までの期間において、代理店向けの端末販売等の売上高の過大計上その他不適切な会計処理が判明いたしました。

上記の調査結果等を踏まえて、当社は、2025年10月31日、過年度有価証券報告書等の訂正報告書については東海財務局に提出するとともに、過年度の通期決算短信及び四半期決算短信についても訂正いたしました。

2 【訂正箇所】

次ページ以降に訂正後の「2020年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」を添付し、訂正箇所には下線を付しております。

株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には多大なご迷惑、ご心配をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

以上

(訂正後)



2020年4月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年6月30日

上場会社名 株式会社トーシンホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9444 URL <http://www.toshin-group.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 雅文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長兼管理部長 (氏名) 旭 萌々子 TEL 052-262-1122
 定時株主総会開催予定日 2020年7月29日 配当支払開始予定日 2020年7月15日
 有価証券報告書提出予定日 2020年7月31日
 決算補足説明資料作成の有無: 無
 決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年4月期の連結業績(2019年5月1日～2020年4月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	21,415	△12.1	401	28.9	336	29.6	281	214.7
2019年4月期	24,361	△8.7	311	△34.9	260	△32.0	89	△37.4

(注) 包括利益 2020年4月期 285百万円 (231.8%) 2019年4月期 86百万円 (△42.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年4月期	43.91	—	8.2	1.6	1.9
2019年4月期	14.00	13.87	2.7	1.3	1.3

(参考) 持分法投資損益 2020年4月期 一百万円 2019年4月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	21,900	3,551	16.0	546.78
2019年4月期	19,785	3,435	17.0	522.91

(参考) 自己資本 2020年4月期 3,505百万円 2019年4月期 3,352百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年4月期	767	△2,843	1,912	1,528
2019年4月期	312	△1,624	1,193	1,695

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年4月期	—	10.00	—	10.00	20.00	127	96.7	3.7
2020年4月期	—	10.00	—	10.00	20.00	128	68.4	3.7
2021年4月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00		—	

3. 2021年4月期の連結業績予想(2020年5月1日～2021年4月30日)

通期業績予想につきましては、現時点において合理的な業績予想の算定が困難であるため、開示を見送らせて頂きます。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2020年4月期	6,481,200株	2019年4月期	6,481,200株
2020年4月期	69,541株	2019年4月期	69,121株
2020年4月期	6,411,874株	2019年4月期	6,389,424株

(参考) 個別業績の概要

2020年4月期の個別業績（2019年5月1日～2020年4月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年4月期	1,182	△10.7	225	△19.7	195	△21.9	233	—
2019年4月期	1,324	△94.8	280	1.1	250	20.6	△15	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年4月期	36.41	—
2019年4月期	△2.49	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年4月期	14,572	2,523	17.1	387.79
2019年4月期	12,086	2,460	19.7	371.42

(参考) 自己資本 2020年4月期 2,486百万円 2019年4月期 2,381百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期業績予想につきましては、現時点において合理的な業績予想の算定が困難であるため、開示を見送らせて頂きます。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュフローの概況	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度（2019年5月1日から2020年4月30日まで）におけるわが国経済は、政府による各種政策や日本銀行による金融緩和政策を背景に企業業績や雇用・所得環境に改善がみられるなど、景気は穏やかな回復基調で推移してまいりました。しかしながら、長引く米中貿易摩擦や英国のEU離脱問題といった海外要因、2020年2月頃より新型コロナウイルス感染症の拡大による経済活動の停滞懸念などにより、先行き不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、当社は、携帯ショップの移転改装、テナントビル及びマンションの稼働率強化、ゴルフ場でのイベント開催を行い、販売実績の向上及び収益確保に務めて参りました。

当連結会計年度の連結経営成績は、売上高214億15百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益4億1百万円（前年同期比28.9%増）、経常利益3億36百万円（前年同期比29.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益2億81百万円（前年同期比214.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

（移動体通信関連事業）

携帯電話業界におきましては、総務省による「モバイルサービス等の適正化」によって端末代金と通信料金等の完全分離が行われ、通信事業者によるシンプルで分かりやすい料金プランの提供が始まりました。一方で、通信事業者による店舗評価制度の見直しや変更が行われ、携帯代理店における競争激化が続いております。

このような環境の中、当社グループは、店舗近隣への営業活動による集客力の強化、顧客満足度の向上に努めてまいりましたが、当連結会計年度における売上高は、195億11百万円、セグメント利益は、3億91百万円となりました。

（不動産事業）

不動産事業におきましては、景気の回復基調を背景に地価上昇による改善傾向が見られ、市場は底堅く推移しております。当社グループにおきましては、新規マンションの建設、テナントビル及びマンションの入居者募集を行うと共に市場の変化を敏感に読み取りながら、的確な対応を進めております。

当連結会計年度における売上高は5億66百万円、セグメント利益は2億8百万円となりました。

（リゾート事業）

ゴルフ業界は、若手からベテランに至るまで幅広いプロゴルファーの活躍により、ゴルフ人気が幅広く波及しており、ゴルフが世代を超え老若男女に親しみやすいスポーツとして捉えられるようになっております。

このような環境の中、ゴルフコースの品質維持・サービス向上に努め、ゴルファーの快適なプレー環境をサポートし、集客力の強化に努めてまいりました。

当連結会計年度における売上高は12億95百万円、セグメント損失は8百万円となりました。

（その他）

飲料水の販売やゴルフ用品の販売、太陽光発電事業、ゴルフレッスン施設等を行っております。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度における総資産は、219億円となり、前連結会計年度末と比べて21億14百万円の増加となりました。これは、主に建物及び土地の取得によるものであります。

負債は183億49百万円となり、前連結会計年度末と比べて19億99百万円の増加となりました。これは、主に長期借入の増加によるものであります。

純資産は、35億51百万円となり、前連結会計年度末と比べて1億15百万円の増加となり、自己資本比率16.0%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有形固定資産の取得による支出27億27百万円や借入金返済による支出7億89百万円、長期借入金による収入26億63百万円により一部相殺され、税金等調整前当期純利益が4億10百万円（前年同期比148.6%増）と増加したものの、前連結会計年度末に比べ1億66百万円減少し、当連結会計年度末には15億28百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7億67百万円（前年同期比145.7%増）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益4億10百万円、減価償却費3億6百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は28億43百万円（前年同期比75.0%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出27億27百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は19億12百万円（前年同期比60.2%増）となりました。これは主に長期借入による収入26億63百万円、長期借入金の返済による支出7億89百万円等によるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2016年4月期	2017年4月期	2018年4月期	2019年4月期	2020年4月期
自己資本比率(%)	19.4	18.1	17.7	17.0	16.0
時価ベースの自己資本比率(%)	21.6	19.5	21.7	18.5	14.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	11.6	25.2	17.8	40.4	19.1
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	7.5	3.9	6.6	3.6	8.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1） いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2） 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3） キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを使用しております。

（注4） 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,456,572	3,481,809
売掛金	2,533,585	2,123,972
商品及び製品	749,224	489,438
原材料及び貯蔵品	17,959	18,362
その他	219,392	209,463
流動資産合計	6,976,734	6,323,047
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,899,602	8,732,752
減価償却累計額	△1,325,173	△2,504,107
建物及び構築物（純額）	3,574,429	6,228,644
土地	7,927,976	8,501,887
リース資産	341,675	335,059
減価償却累計額	△236,187	△241,519
リース資産（純額）	105,488	93,540
建設仮勘定	338,286	26,827
その他	348,114	581,857
減価償却累計額	△269,204	△512,717
その他（純額）	78,910	69,140
有形固定資産合計	12,025,091	14,920,040
無形固定資産	151,346	150,547
投資その他の資産		
投資有価証券	36,021	54,525
長期貸付金	165,562	58,535
敷金及び保証金	226,931	186,294
繰延税金資産	108,334	85,143
その他	85,448	114,589
投資その他の資産合計	622,298	499,087
固定資産合計	12,798,736	15,569,676
繰延資産		
社債発行費	10,434	8,180
繰延資産合計	10,434	8,180
資産合計	19,785,905	21,900,903

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年4月30日)	当連結会計年度 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,570,460	2,110,471
短期借入金	3,800,000	4,050,000
1年内返済予定の長期借入金	705,853	706,805
未払金	<u>300,228</u>	<u>137,332</u>
リース債務	71,141	71,159
未払法人税等	37,261	<u>88,385</u>
賞与引当金	40,900	35,626
資産除去債務	—	1,752
その他	<u>299,833</u>	<u>307,743</u>
流動負債合計	<u>7,825,679</u>	<u>7,509,275</u>
固定負債		
社債	700,000	700,000
長期借入金	7,184,901	9,057,921
リース債務	144,824	106,703
繰延税金負債	—	471,280
退職給付に係る負債	27,902	28,541
資産除去債務	25,918	21,489
デリバティブ債務	70,677	67,100
その他	370,683	<u>387,567</u>
固定負債合計	<u>8,524,907</u>	<u>10,840,604</u>
負債合計	<u>16,350,587</u>	<u>18,349,879</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,752	724,752
資本剰余金	863,270	863,270
利益剰余金	<u>1,795,397</u>	<u>1,948,663</u>
自己株式	<u>△48,159</u>	<u>△48,385</u>
株主資本合計	<u>3,335,260</u>	<u>3,488,300</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,673	17,474
その他の包括利益累計額合計	<u>17,673</u>	<u>17,474</u>
新株予約権	78,574	36,985
非支配株主持分	<u>3,809</u>	<u>8,263</u>
純資産合計	<u>3,435,318</u>	<u>3,551,024</u>
負債純資産合計	<u>19,785,905</u>	<u>21,900,903</u>

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
売上高	24,361,653	21,415,579
売上原価	21,037,691	17,890,807
売上総利益	3,323,961	3,524,771
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	853,012	838,500
賞与引当金繰入額	80,140	34,017
退職給付費用	6,983	9,066
地代家賃	275,202	249,172
その他	1,797,228	1,992,580
販売費及び一般管理費合計	3,012,567	3,123,336
営業利益	311,394	401,435
営業外収益		
受取利息	581	331
受取配当金	891	1,079
貸倒引当金戻入額	5,692	—
債務免除益	5,241	—
デリバティブ評価益	4,937	3,577
店舗開設支援金	3,444	—
受取保険金	117	4,562
敷金償却収入	8,434	10,233
その他	15,643	25,936
営業外収益合計	44,983	45,720
営業外費用		
支払利息	92,435	97,443
支払手数料	111	11
その他	3,805	12,788
営業外費用合計	96,352	110,244
経常利益	260,024	336,911
特別利益		
固定資産売却益	7,909	44,104
新株予約権戻入益	7,638	41,589
受取保険金	11,834	3,147
特別利益合計	27,382	88,841
特別損失		
固定資産除却損	113,194	15,388
盗難損失	8,802	—
投資有価証券売却損	370	—
特別損失合計	122,367	15,388
税金等調整前当期純利益	165,040	410,364
法人税、住民税及び事業税	38,249	101,116
法人税等調整額	36,065	23,279
法人税等合計	74,314	124,395
当期純利益	90,726	285,969
非支配株主に帰属する当期純利益	1,270	4,454
親会社株主に帰属する当期純利益	89,455	281,515

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
当期純利益	<u>90,726</u>	<u>285,969</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	<u>△4,590</u>	<u>△199</u>
その他の包括利益合計	<u>△4,590</u>	<u>△199</u>
包括利益	<u>86,135</u>	<u>285,769</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	<u>84,864</u>	<u>281,315</u>
非支配株主に係る包括利益	<u>1,270</u>	<u>4,454</u>

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	708,289	846,806	1,833,705	△47,873	3,340,927
当期変動額					
新株の発行	16,463	16,463			32,927
剰余金の配当			△127,752		△127,752
親会社株主に帰属する当期純利益			<u>89,455</u>		<u>89,455</u>
自己株式の処分			△10	118	108
自己株式の取得				△404	△404
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	16,463	16,463	<u>△38,307</u>	△286	<u>△5,666</u>
当期末残高	724,752	863,270	<u>1,795,397</u>	△48,159	<u>3,335,260</u>

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	22,264	22,264	88,031	2,538	3,453,761
当期変動額					
新株の発行					32,927
剰余金の配当					△127,752
親会社株主に帰属する当期純利益					<u>89,455</u>
自己株式の処分					108
自己株式の取得					△404
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△4,590	△4,590	△9,456	<u>1,270</u>	<u>△12,776</u>
当期変動額合計	△4,590	△4,590	△9,456	<u>1,270</u>	<u>△18,443</u>
当期末残高	17,673	17,673	78,574	<u>3,809</u>	<u>3,435,318</u>

当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	724,752	863,270	<u>1,795,397</u>	△48,159	<u>3,335,260</u>
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当			△128,239		△128,239
親会社株主に帰属する当期純利益			<u>281,515</u>		<u>281,515</u>
自己株式の処分			△9	62	52
自己株式の取得				△288	△288
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	<u>153,265</u>	△225	<u>153,040</u>
当期末残高	724,752	863,270	<u>1,948,663</u>	△48,385	<u>3,488,300</u>

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	17,673	17,673	78,574	<u>3,809</u>	<u>3,435,318</u>
当期変動額					
新株の発行					—
剰余金の配当					△128,239
親会社株主に帰属する当期純利益					<u>281,515</u>
自己株式の処分					52
自己株式の取得					△288
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△199	△199	△41,589	<u>4,454</u>	<u>△37,334</u>
当期変動額合計	△199	△199	△41,589	<u>4,454</u>	<u>115,705</u>
当期末残高	17,474	17,474	36,985	<u>8,263</u>	<u>3,551,024</u>

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	165,040	410,364
減価償却費	243,196	306,407
繰延資産償却額	1,972	2,254
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△61,270	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△29,100	△11,759
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△20,000	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	3,372	△100
受取利息及び受取配当金	△1,473	△1,411
支払利息	92,435	97,443
固定資産売却損益 (△は益)	△7,909	△44,104
固定資産除却損	113,194	15,388
為替差損益 (△は益)	△1,296	2,594
デリバティブ評価損益 (△は益)	△4,937	△3,577
新株予約権戻入益	△7,638	△41,589
投資有価証券売却損益 (△は益)	370	—
売上債権の増減額 (△は増加)	600,618	417,969
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△92,021	260,706
その他の資産の増減額 (△は増加)	31,575	3,437
仕入債務の増減額 (△は減少)	△335,636	△462,202
未払金の増減額 (△は減少)	△27,207	△53,325
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△140,282	△64,381
その他の負債の増減額 (△は減少)	51,687	△14,622
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	1,191	8,058
その他	3,177	1,467
小計	579,057	829,018
利息及び配当金の受取額	1,473	1,411
利息の支払額	△87,536	△92,806
法人税等の支払額	△180,563	△51,948
法人税等の還付額	—	81,975
営業活動によるキャッシュ・フロー	312,430	767,650

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△37,124	△190,432
有形固定資産の取得による支出	△1,401,609	△2,727,769
有形固定資産の売却による収入	22,311	42,232
投資有価証券の取得による支出	△15,023	△18,815
投資有価証券の売却による収入	14,630	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	※2 33,008
資産除去債務の履行による支出	△906	△10,293
敷金及び保証金の差入による支出	△86,403	△54
敷金及び保証金の回収による収入	1,191	40,741
貸付けによる支出	△100,000	—
保険積立金の積立による支出	△13,110	△11,918
その他	△8,830	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,624,875	△2,843,299
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	35,500	250,000
長期借入れによる収入	2,785,000	2,663,000
長期借入金の返済による支出	△1,652,006	△789,028
社債の発行による収入	197,582	—
リース債務の返済による支出	△72,929	△84,365
新株予約権の行使による株式の発行による収入	27,971	—
配当金の支払額	△127,245	△127,321
その他	△296	△235
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,193,577	1,912,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,296	△2,594
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△117,569	△166,195
現金及び現金同等物の期首残高	1,812,585	1,695,015
現金及び現金同等物の期末残高	1,695,015	1,528,819

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、移動体通信機器等の販売、携帯電話サービス契約への加入取次等の業務受託等を行う「移動体通信関連事業」、貸しビル、マンション賃貸事業及び不動産販売事業等を行う「不動産事業」及びゴルフ場の運営管理等を行う「リゾート事業」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	移動体 通信関連 事業	不動産 事業	リゾート 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,552,926	487,579	1,291,674	24,332,180	29,472	24,361,653
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	22,552,926	487,579	1,291,674	24,332,180	29,472	24,361,653
セグメント利益	270,306	135,599	191,364	597,271	△111,602	485,668
セグメント資産	4,223,604	8,471,342	3,520,923	16,215,869	12,368	16,228,238
その他の項目						
減価償却費	18,912	129,661	75,690	224,264	2,333	226,598
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
受取利息	1	0	3	5	—	5
支払利息	37,961	16,084	31,600	85,646	486	86,132
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	12,779	1,263,959	452,613	1,729,352	—	1,729,352

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の販売、太陽光発電収入、ゴルフレッスン施設収入、ふるさと納税返礼品提供収入等を含んでおります。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	移動体 通信関連 事業	不動産 事業	リゾート 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	<u>19,511,273</u>	566,866	<u>1,295,292</u>	<u>21,373,433</u>	<u>42,146</u>	<u>21,415,579</u>
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	<u>19,511,273</u>	566,866	<u>1,295,292</u>	<u>21,373,433</u>	<u>42,146</u>	<u>21,415,579</u>
セグメント利益	<u>391,803</u>	208,313	<u>△8,164</u>	<u>591,952</u>	<u>△10,726</u>	<u>581,226</u>
セグメント資産	<u>3,165,317</u>	<u>10,345,366</u>	<u>4,606,131</u>	<u>18,116,815</u>	24,010	<u>18,140,825</u>
その他の項目						
減価償却費	<u>25,355</u>	147,810	107,533	<u>280,700</u>	<u>1,256</u>	<u>281,956</u>
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—
受取利息	2	1	1	5	—	5
支払利息	38,483	16,902	34,338	89,724	314	90,038
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	47,868	2,366,625	1,129,583	3,544,077	—	3,544,077

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水の販売、太陽光発電収入、ゴルフレッスン施設収入、ふるさと納税返礼品提供収入等を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	24,332,180	21,373,433
「その他」の区分の売上高	29,472	42,146
セグメント間取引消去	—	—
連結財務諸表の売上高	24,361,653	21,415,579

(単位: 千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	597,271	591,952
「その他」の区分の利益	△111,602	△10,726
セグメント間取引消去	—	—
全社費用 (注)	△225,643	△244,314
連結財務諸表の経常利益	260,024	336,911

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、営業外収益及び営業外費用であります。

(単位: 千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	16,215,869	18,116,815
「その他」の区分の資産	12,368	24,010
全社資産 (注)	3,557,667	3,760,078
連結財務諸表の資産合計	19,785,905	21,900,903

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社現預金であります。

(単位: 千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	224,264	280,700	2,333	1,256	16,598	24,450	243,196	306,407
受取利息	5	5	—	—	576	326	581	331
支払利息	85,646	89,724	486	314	6,302	7,405	92,435	97,443
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,729,352	3,544,077	—	—	5,317	38,080	1,734,669	3,582,158

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、本社建物の設備投資額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメントと同一であるため、記載を省略いたしております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	8,477,123	移動体通信関連事業
KDDI株式会社	6,643,191	移動体通信関連事業
株式会社オーレンジ	5,242,586	移動体通信関連事業

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

製品及びサービスの区分が報告セグメントと同一であるため、記載を省略いたしております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
ソフトバンク株式会社	6,838,563	移動体通信関連事業
KDDI株式会社	6,165,412	移動体通信関連事業
株式会社オーレンジ	5,179,494	移動体通信関連事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2018年5月1日 至 2019年4月30日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年5月1日 至 2020年4月30日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり純資産額	522円91銭	546円78銭
1株当たり当期純利益金額	14円00銭	43円91銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	13円87銭	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年5月1日 至 2019年4月30日)	当連結会計年度 (自 2019年5月1日 至 2020年4月30日)
(1) 1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	89,455	281,515
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	89,455	281,515
普通株式の期中平均株式数(株)	6,389,424	6,411,874
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	58,646	—
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	2015年8月10日取締役会決議 によるストックオプション (新株予約権の数 1,964個)	2015年8月10日取締役会決議 によるストックオプション (新株予約権の数 1,746個) 2016年8月8日取締役会決議 によるストックオプション (新株予約権の数 4,312個)